

集中治療部

診療スタッフ

部長 小山洋史、神尾直
医員 佐藤瑞樹、鱈口清満

診療概要

集中治療部は、高度急性期医療機関である当院の集中治療室(ICU・ECU)に入院する患者に対し、各診療科・各職種と横断的かつ有機的な連携を構築して、24時間365日絶え間なく最良の医療・ケアを提供することを目的として活動を行っている。2021年度は、小山、神尾、佐藤、鱈口の専任医4名体制でスタートした。前年度に継続してICU8床と救命救急センターに属するECU10床の計18床において、各診療科と連携したon demandの集中治療管理を行った。2019年度より段階的に夜間休日の医師配置を進めていたが、COVID19パンデミック第5波を契機に24時間集中治療医常駐体制を確立した。24時間体制への移行に伴い、より細やかかつ連続的な管理体制に移行できたと考えている。

診療以外に教育活動にも重点を置いた。救急総合診療科スタッフ1名、救急後期研修医2名、内科後期研修医3名、2年次初期研修医14名、三重大学より1年次初期研修医1名の短期研修の受け入れを行った。研修者に対しては、on the jobで重症患者診療の教育を行う他、journal club等を通して最新かつ標準的な重症患者診療に関連する情報の取得方法に関する教育を行った。また通年で重症患者管理に関するトピック別の講義を、希望者に対してオンラインで提供を行った。

多職種連携をより一層推進させるべく活動を行った。平日朝9時より医師・看護師・薬剤師・理学療法士(呼吸療法部含む)・管理栄養士・臨床工学技士で全体カンファを行い情報の共有に努めている他、管理栄養士とは、週1回の栄養カンファレンスを開催して栄養管理に対する評価提案を行っている。また、院内外のECMO研修に多職種で参加する等、チームとしてより安全で質の高い医療を提供する努力を続けてい

る。職種連携したRRS/METの活動も継続しており、2022年度の院内急変対応体制統合へ向けてより幅広い職種(病院救命救急士等)への参画を呼び掛けて協議を行った。

2021年度はCOVID19の第4-6波を経験した年であった。当院に運営を委託された中等症COVID19専用の臨時の医療施設の診療に2020年より当部も参画していたが、神奈川県下の重症患者の急激な増加を受け、ECU内で人工呼吸器及びECMO管理が必要な重症COVID19診療を行った。

診療実績

【診療実績】

ICU 総患者入室数 994件
ECU 総患者入室数 960件

【学術論文(英文)】

- 1.Fukaguchi K, Yamagami H, Soeno S, Hara K, Shirakawa T, Sonoo T, Nakamura K, Goto T. Association of Initial Potassium Levels with the Type of Stroke in the Emergency Department. J Stroke Cerebrovasc Dis. 2021; 30(8):105875.
- 2.Koyama H, Chierakul W, Charunwatthana P, Sanguanwongse N, Phonrat B, Silachamroon U, Dondorp AM. Lung Ultrasound Findings of Patients with Dengue Infection: A Prospective Observational Study. Am J Trop Med Hyg. 2021; 105(3): 766-770
- 3.Taniguchi Y, Kuno T, Komiyama J, Adomi M, Suzuki T, Abe T, Ishimaru M, Miyawaki A, Saito M, Ohbe H, Miyamoto Y, Imai S, Kamio T, Tamiya N, Iwagami M. Comparison of patient characteristics and in-hospital mortality between patients with COVID-19 in 2020 and those with influenza in 2017-2020: a multicenter, retrospective cohort study in Japan. Lancet Reg Health West Pac. 2022 Mar;20:100365.
- 4.Kawachi J, Koyama H, Aida Y, Kamio T, Yamagami

集中治療部

H, Nishiguchi S. Spontaneous pneumothorax with coronavirus disease 2019 in non-ventilated patients: A single-center retrospective case series. *Ann Med Surg.* 2021 Dec;72:103134.

【学術論文(和文)】

1. 小山洋史, 曾田悦久, 山上浩, 熊谷知博, 西口翔, 神尾直, 河内順. 病院敷地外に設営された本邦初の新型コロナウイルス感染症中等症専用の臨時仮設医療施設についての報告: 神奈川県第2波までの経過(A report of a 180-bed temporary prefabricated field hospital for COVID-19 in Japan). *日本救急医学会雑誌.* 2021; 32: 438-45
2. 神尾直, 小山洋史, 曾田悦久, 福壽彰, 河内順, 山上浩. 新型コロナウイルス感染症専用仮設病棟における酸素供給法についての考察. *人工呼吸.* 第38巻2号
3. 佐藤瑞樹, 小野寺睦雄, 市中 Acinetobacter baumannii 肺炎を発症した脾臓低形成患者の1例 *日本救急医学会雑誌.* 2021; 32(6): 326-331

【学会発表(国内)】

1. 田口梓, 鱈口清満, 神尾直, 羽田野博葵, 福井浩之, 関根一朗, 山上浩, 佐藤瑞樹, 小山洋史, 第49回日本集中治療医学会学術集会, 「Rapid sequence intubation における挿管後低血圧と年齢, Shock Index, BMI との関連」, 2022.3.
2. 鱈口清満, 神尾直, 羽田野博葵, 河内順, 山上浩, 佐藤瑞樹, 小山洋史, 後藤匡啓, 第49回日本集中治療医学会学術集会, 「大腸穿孔における Door to Operation Time と予後との関連」, 2022.3.
3. 石井貴彰, 岩村庸平, 古川秀太, 松井章悟, 猪俣隼人, 高室昌司, 佐藤瑞樹, 神尾直, 小山洋史, 第49回日本集中治療医学会学術集会「呼吸、循環状態の変動が著しい症例に対し V-VA ECMO+Impella が有用だった一例」 2022.3.
4. 長谷川和也, 長谷川光一, 太田隆嗣, 神尾直, 一條幹史, 第49回日本集中治療医学会学術集会, 「臍頭十二指腸

切除術における術後悪心嘔吐がリハビリテーション経過に与える影響」, 2022.3.

5. 久志本愛莉, 鱈口清満, 持田泰寛, 羽田野博葵, 佐藤瑞樹, 神尾直, 小山洋史, 第49回日本集中治療医学会学術集会, 「腎移植後患者に発症した水痘帯状疱疹ウイルス肺炎、髄膜炎の一例」, 2022.3.
6. 神尾直, 小山洋史, 佐藤瑞樹, 鱈口清満, 第49回日本集中治療医学会学術集会「本邦における Tele-ICU の進捗状況と働き方改革へのインパクト 徳洲会グループ内での遠隔 ICU システム導入に向けての現状と課題」, 2022.3.
7. 小山洋史, 曾田悦久, 山上浩, 山田拓也, 鱈口清満, 福井浩之, 関根一朗, 時田裕介, 上段あずさ, 村田宇謙, 河内順. 第49回日本救急医学会総会・学術集会, シンポジウム: 救急医はいかにコロナと戦ったか 「COVID19 中等症に特化した大規模臨時医療施設においても救急医は不可欠であった!」, 2021.11.
8. 鱈口清満, 山上浩, 関根一朗, 福井浩之, 仁平敬土, 堀池亜弥, 時田裕介, 上段あずさ, 山本真嗣. 第49回日本救急医学会総会・学術集会, 「産科救急のチームビルディングに向けた3つの取り組み」, 2021.11.
9. 神尾直, 日本集中治療医学会第5回関東甲信越支部学術集会, 「集中治療における輸血療法アップデート」, 2021.6.
10. 小山洋史, 日本集中治療医学会第5回関東甲信越支部学術集会, 「高感度トロポニン I を用いた新型コロナウイルス感染症に併発する心筋障害の発生についての検討」, 2021.6.
11. 神尾直, 日本集中治療医学会第5回関東甲信越支部学術集会, 「重症急性前骨髄急性白血病患者の集中治療に関する後方視的解析」, 2021.6.
12. 佐藤瑞樹, 日本集中治療医学会第5回関東甲信越支部学術集会, 「十二指腸静脈瘤破裂による出血性ショックに対し REBOA (resuscitative endovascular balloon occlusion for aorta) が有効であった1例」, 2021.6.
13. 鱈口清満, 佐藤淑, 佐藤瑞樹, 神尾直, 小山洋史, 日本集

集中治療部

中治療医学会第5回北海道支部学術集会,「侵襲性気管支アスペルギルス症に対してVV-ECMOと気管内局所治療を行い重症呼吸不全の治療に成功した1例」,2021.9.

【学会発表(国外)】

The 1st Joint Scientific Congress of TSCCM, TSECCM, and JSICM

1.Fukaguchi K., Kamio T, Hadano H, Kawachi J, Yamagami H, Sato H, Koyama H, Goto T.
Association of door to operation time with the prognosis in colorectal perforation.

Best Abstract Award 受賞

American College of Emergency Physician Research Forum 2021

1.Fukaguchi K., Yamagami H, Soeno S, Liu K, Sonoo T, Nakamura K, Goto T.

The Diagnostic Accuracy of Costovertebral Angle Tenderness in the Emergency Department

【共同研究・競争的資金等の研究課題】

1.研究費：文部科学省科学研究費 若手研究
課題名：「深層学習を用いた人工呼吸器の異常検知予測アルゴリズムの研究開発」

研究代表者：神尾直

2.研究費：令和3年度 救急に関する調査研究事業助成 一般財団法人救急振興財団

研究代表者：鱈口清満

3.研究費：日本医療研究開発機構

課題名：「新型コロナウイルス感染症患者の予後予測及び治療評価に関わる 多施設共同観察研究」

研究分担者：小山洋史 研究代表者：竹内一郎(横浜市大救急医学講座)

【書籍】

1.神尾直,「COVID-19:ICUにおけるパンデミック対策 遠隔医療,オンライン家族面会の活用 遠隔医療システムは日常的な使用が災害時に生きる」

INTENSIVIST 2021 MEDSi

2.神尾直,「“救急”の質を向上させる先端ITの実力 緊急対応に資するIT活用の諸要件 集中治療の遠隔支援による救急医療の効率化と安全性の担保」月刊新医療 2021 エム・イー振興協会

3.藤村一軌(編集)、小山洋史(監修):湘南鎌倉総合病院 薬剤部・集中治療部 「救急・ICU重要薬クイックノート」2021 照林社

4.鱈口清満,「泌尿器科診療に役立つ周辺手技と処置 緊急時の輸液」泌尿器外科 34(5):502-506 2021 2021-05 医学図書出版

その他の活動

なし

展望/抱負

次年度も、引き続き24時間365日より安定した重症患者管理体制の構築を目指している。各診療科・各職種との連携をより強化し、救急経由の重症患者の早期介入を目指した活動や、院内急変予防及び急変時早期介入に向けての活動も行っていきたいと考えている。